Garage

giroflex Garage Edition chair33

GB-34SLU 415-445
GB-33SLU 415-442

20100120

取扱説明書

●この度は、**Garage**チェア33をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
●この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
●お読みになった後は、大切に保管してください。

警告

●けがをすることを防ぐために、以下のことを守ってください。
・イスの上に立ち上がったり、肘や背に座らないでください。
・幼児を１人で座らせたり､操作させたりしないでください。
・足の届かない高さに調節して座ったり､前後逆方向に座らないでください。
・滑りやすい床面で使わないでください。
・脚の届かない高さに調整して座ったり、前後逆方向に座らないでください。

●ガススプリングを火に入れたり､分解しないでください｡高圧ガスが爆発してけがをすることがあります。
●廃棄するときは購入店へご相談ください。焼却すると有害ガスが発生することがあります。

注意

●けがをすることを防ぐために、以下のことを守ってください。
・可動部のすき間に手をいれないでください。
・必ず１座席に１人ずつ座ってください｡２人以上で座らないでください。
・イスを運搬車として使わないでください。
・背受部や、座面がぐらついたり、異音を生じたままで使わないでください。
・座面の前縁や、肘かけの上に腰掛けないでください。
・使用中ネジの緩みを発見した場合は必ず増し締めを行なってください。
・異常を発見した場合､そのままで使わないで、購入店へご相談ください。
・樹脂部は注油しないでください。
・分解や改造をしないでください。

●ストーブなどの火のそばに近づけて使わないでください。布地等に引火して、火事になることがあります。
●木質系フロア、クッションフロア、畳などでご使用の場合、キャスターにより床面を傷つける場合がありますので、床材に合ったキャスターをお選びいただくか、市販のチェアマット、カーペットなどを敷いて、ご使用ください。

一般的ご注意

・以下の場所では使用しないでください。故障の原因となることがあります。
　屋外、またはほこりや湿度の高い場所、水のかかる場所
　直射日光のあたる場所
　冷凍室などの低温な場所
　振動の激しい場所
　段差、傾斜、凸凹のある場所
・オフィスの掃除の時などに、机の上にイスを載せないでください。落下などにより故障することがあります。

お手入れ方法

○クッション
　布地用のブラシでブラッシングするか、電気掃除機でホコリを吸い取ってください。
　ぬれ雑巾をかたくしぼってふいてください。著しい汚れの場合は中性洗剤を使用してください
　ベンジン、アルコール等は使用しないでください。
　家具用クリーナー、洗剤などは、その説明書にしたがい、一度テストしてからご使用ください。
○樹脂部
　クッションに同じ
○キャスター
　車輪の回りに付着したゴミ等を取り除いてください。

お問い合わせ先

製品に関するご質問は、ご購入店または下記のお問い合わせセンターにお寄せください。

ガラージお客様センター　☎0120-331-753
9：00～18：00（土日曜、祝日、年末年始を除く）

品質表示

■外形寸法　（GB-34,33SLU共通）
幅590×奥行き480～570×高さ790～875㎜
座面高さ　380～465㎜

■構造部材
脚　　部　アルミ
座受け部　スチール
背支柱部　スチール
座シェル　ポリプロピレン
背シェル　ポリプロピレン
肘掛け部　ポリプロピレン
ｸｯｼｮﾝ材　発泡ウレタン

■表面加工
金属部　メラミン塗装(GB-33SLU)
　　クロームメッキ処理(GB-34SLU)
張り材　ポリエステル

■取扱い上の注意
　　直射日光または熱を避けること

■表示者　**プラス株式会社** ガラージ事業部
〒102-0075
東京都千代田区三番町6-14

Garage

giroflex Garage Edition chair33

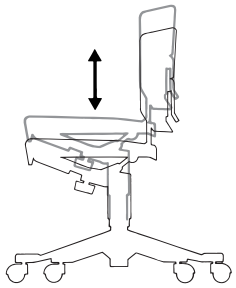
GB-34SLU 415-445
GB-33SLU 415-442

20030301

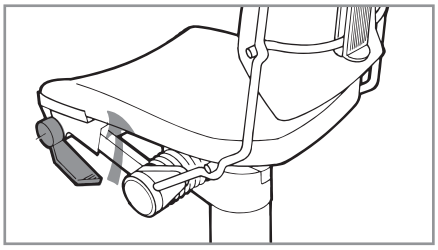
取扱説明書

操作方法（GB-33,34SLU共通）

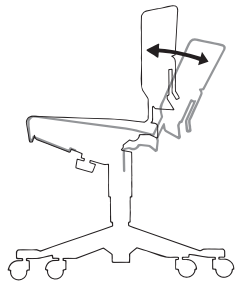
A:座面高さ調節



軽く腰を上げ、座面の左下のレバーを上げてください。座面は自動的に上がりますので、ご希望の高さでレバーを放してください。座面を低くしたい場合は、椅子に掛けたままレバーを上げますと、自動的に下がります。

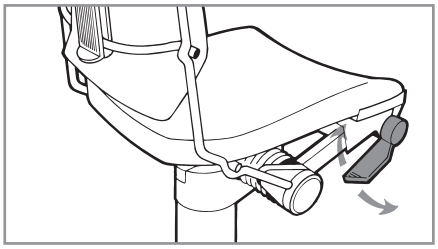


B:シンクロムーブ機構

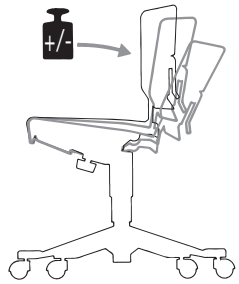


座面右下のレバーを上げてください。この状態で椅子は、リクライニングします。リクライニングを固定したい時は、このレバーを下げてください。お好みに合わせて調節してください

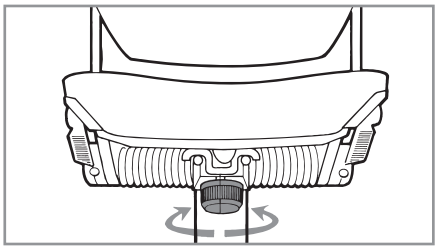
この機構は座面先端を定位置に保ちながら、座面と背もたれが一体となって作動する傾斜機構です。



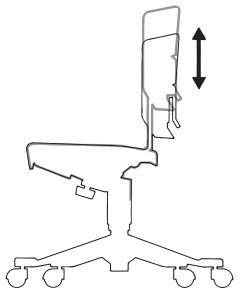
C:リクライニングの硬さ調節



座面の下のつまみを時計方向に回すと硬くなります。お好みに合わせて調節してください。



D:背もたれの高さ調節



背もたれの後ろについている調節レバーを引きながら(①)、腰椎を支えるように高さを合わせます(②)。
この時、背もたれを強く引き上げないで調節して下さい。ストッパーなどの故障の原因になることがあります。